

問い合わせ先

海上保安庁 第四管区海上保安本部

海洋情報部 監理課長 寺井 博

TEL 052-661-1611 (内線2510)

平成25年5月22日



毎年6月21日は「世界水路の日」

～ 測量船で海の深さを測りながら海洋情報業務の紹介を行います ～

6月21日は「世界水路の日」です。これを機会に海洋情報業務とはどのようなものかその一部を知ってもらうため、第四管区海上保安本部所属の測量船「いせしお」に乗船していただき、実際の水深の測量、海流の観測についてご紹介します。

国際水路機関（※）の前身である国際水路局が、大正10年（1921年）6月21日に設立されたことから、国際水路機関では毎年この日を「世界水路の日」としています。

今年の「世界水路の日」のテーマは、「海洋情報業務 — ブルーエコノミーを支えるもの —」で、海洋情報業務の安全以外の事項に対する重要性や有用性の意識を高め、海洋情報業務への支援を通して沿岸国がもたらすことができる経済的恩恵を強調することを意図しています。

※国際水路機関は、海図や航海の案内書である水路誌などの「水路図誌」を改善し、世界中の海上での航海をより容易かつ安全にすることを目的とし、「国際水路機関条約」に基づき（日本国の条約批准は昭和44年）、諮問的かつ技術的な国際機関として設立されました。平成25年3月末現在の参加国は81カ国にのぼります。



主要な要目	
総トン数	約27トン
航続距離	200海里
全長	21.0m
主機関	ディーゼル機関
最大幅	4.5m
	500ps×2基
深さ	2.4m
最大搭載人員	10名
喫水	1.0m
竣工年月	平成11年3月
航海速度	約15ノット
主要な搭載調査機器	
・測量データ集録装置	
浅海ナローマルチビーム測深機	
測量用DGPS受信機	
データ処理装置	
・海潮流データ集録装置	
多層音波流速計(ADCP)	
多層音波流速データ集録装置	
・その他	
電子海図表示装置	
4m型作業艇	

「世界水路の日2013」テーマ

海洋情報業務-ブルーエコノミーを支えるもの

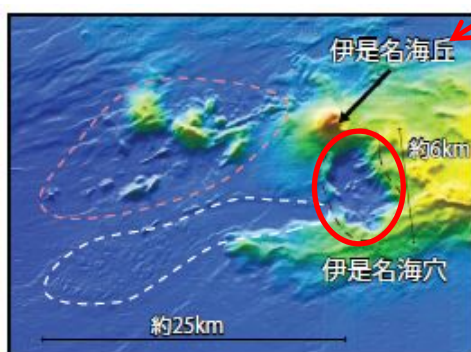
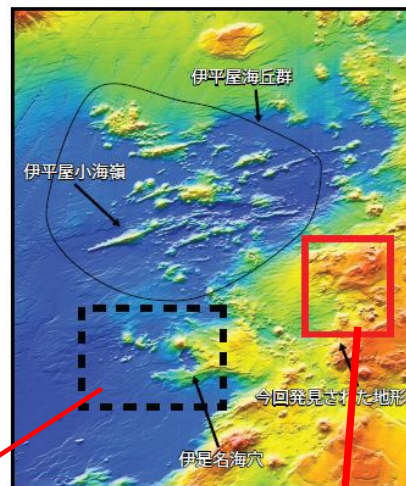
ブルーエコノミーとは、海洋や港湾、沿岸域などで行われる経済活動の総称です

- 海洋は地球の表面積の71%を占めています。
- 海上での輸送は世界貿易の90%以上をカバーし、経済活動の重要なインフラです。
- 海洋には水産物、鉱物、エネルギー等の巨大な資源が存在します。

今後期待される資源
燃える氷「メタンハイドレート」



新たな海底熱水鉱床発見の可能性 -海底鉱物資源開発に期待-



海底熱水鉱床



今回発見したカルデラ



チムニー



採取鉱物サンプル

「世界水路の日2013」テーマ

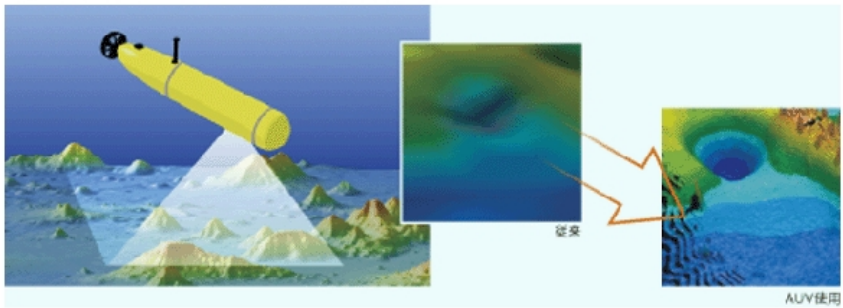
海洋情報業務-ブルーエコノミーを支えるもの

海底資源発見に不可欠な観測機器(AUV)

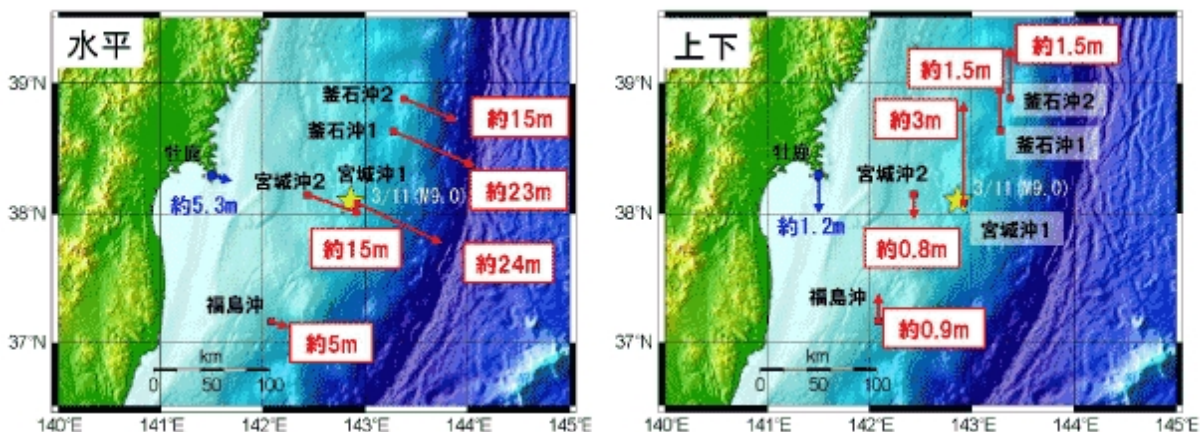
AUV (Autonomous Underwater Vehicle) の導入

従来の測量船による調査に加え、平成25年以降は、精密な海底地形を調査可能なAUV(自律型潜水調査機器)を導入し、海洋権益を保全するための海洋調査能力の向上を図ります。

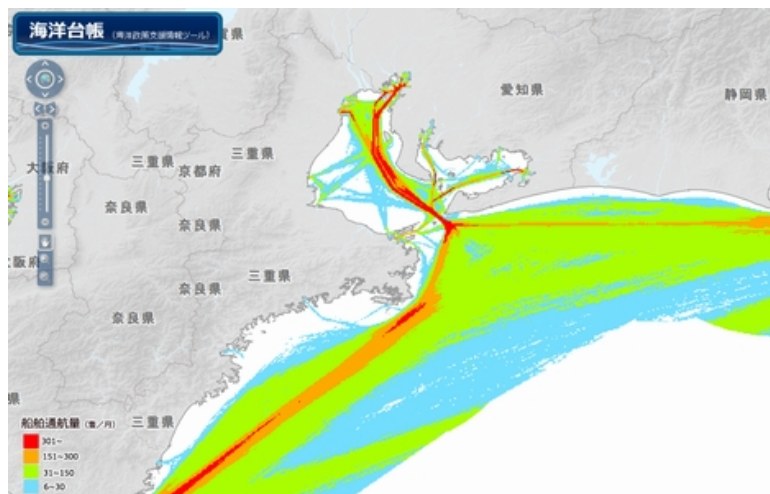
■AUVによる海底地形調査



海底地殻変動観測による東日本大震災での海底の移動量



海洋台帳(海洋政策支援情報ツール)の整備



船舶通航量統計データ

測量船「いせしお」による海洋情報業務紹介のお知らせ

第四管区海上保安本部海洋情報部

報道関係者の皆様に、海洋情報部の業務を紹介するため、測量船による海の深さや潮の流れを計る業務を、実際に測量船に乗って航海しながらご紹介します。

1. 日時： 平成25年6月20日(木)(小雨決行)
10時30分～11時30分(乗船受付は10時から)
2. 乗船(受付)場所： ポートビル横浮き桟橋(図1参照)
3. 航海ルート： 名古屋港内(図2参照)
4. 紹介業務
 - ① 精密音響測深機による水深測量
 - ② 超音波流向流速計による海潮流観測
 - ③ レッド(測鉛)による水深測量、底質判別
5. 参加申込み(期限 6月17日(月))
海洋情報部監理課監理係
電話 052-661-1611(内線2513)
メール sodan4@jodc.go.jp



※天候不良などにより、中止となる場合があります。